

## 報道関係者の皆さまへ

令和 7 年 10 月 1 日

【照会先】

健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課  
感染症情報管理室長 大塚和子（内 2389）  
課長補佐 小谷聡司（内 2373）  
厚生労働省 代表番号 03(5253)1111

## ポリオの現状と対策に関する記者勉強会のお知らせ

急性灰白髄炎（以下「ポリオ」という。）はポリオウイルスによって引き起こされる疾病であり、1988（昭和 63）年 5 月の世界保健総会における決議に基づき、世界保健機関（World Health Organization：WHO）や国際ロータリー、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団等の 6 機関が中心となって推進する官民パートナーシップの「世界ポリオ根絶イニシアティブ（Global polio eradication initiative：GPEI）」を組織し、ポリオ根絶に向けた世界的な取組みが推進されているところです。

日本では、1980 年の 1 例を最後に、現在まで新たな患者は出ておらず、その後、2000 年には WHO 西太平洋地域において野生株ポリオの根絶が宣言され、2002 年にヨーロッパ地域、そして 2020 年にはアフリカ地域でそれぞれ野生株ポリオの根絶が宣言されました。このように世界全体として、ポリオの根絶に向けての取組が進められてはいますが、一部の国や地域では、ワクチンの変異から発生したワクチン由来ポリオウイルス患者や引き続き野生株ポリオ患者が発生しています。また、人の往来が回復・増加するほど、海外で循環する病原体が国内に流入する確率事象は相対的に高まり、野生株ポリオが根絶された国とされているロンドン（2022 年）の下水でのワクチン由来のウイルス検出や、米国ニューヨーク州（2022 年）の下水・麻痺例の報告など、先進国においてもウイルスの検出にかかる対応の準備が求められています。

本国におきましても、海外渡航者、訪日外客の増加等を踏まえ、諸外国と同様の事例が起こる可能性はあること、また、毎年 WHO 西太平洋地域内で実施されている「西太平洋地域におけるポリオ根絶認定委員会」が 11 月に日本で開催されるこの機会に、ポリオの現在の発生状況と世界と国内における対策について、改めて広く周知させていただきたいと考えております。

つきましては、日々報道に携わる記者の皆様に、ポリオの現状について理解を深めていただく記者勉強会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

### 記

開催日時：令和 7 年 10 月 15 日(水)14:00 ～15:00(質疑応答込み)

開催方法：ZOOM を使用した Web 方式で実施

留意事項：勉強会に参加をご希望の方は 10 月 10 日(金) 15:00 までに所属会社（媒体名）、参加者氏名及び連絡先（電話番号）を明記の上、＜申込先＞までお申し込みください。

※お申し込みは報道関係者の方に限らせて頂きます。

・WEB 会議の URL 、資料は勉強会開催日までにメールにてご連絡いたします。

申込先：感染症対策課 広報担当： [kansensho-koho@mhlw.go.jp](mailto:kansensho-koho@mhlw.go.jp)

10 月 10 日(金) 15:00 必着

開催内容：

|             |                                        |                                            |
|-------------|----------------------------------------|--------------------------------------------|
| 14:00-14:25 | ポリオの歴史/現状について<br>(ポリオとは、ポリオ対策歴史、世界の動き) | 川崎市健康安全研究所<br>参与 岡部 信彦 氏                   |
| 14:25-14:35 | ポリオの対策について                             | 厚生労働省 健康・生活衛生局<br>感染症対策部感染症対策課<br>室長 小谷 聡司 |
| 14:35-15:00 | 質疑応答                                   |                                            |

以上